

第13回 あじさいまつり



9種類、2,500株のあじさいが満開となった翠雲公園



心地よい汗を流した「あじさいウォーキング」

満開のあじさいとイベントを 楽しんだ「あじさいまつり」

合川地区・三木田にある翠雲公園で7月24日、「第13回合川あじさいまつり」が開催されました。公園内では9種類約2,500株のあじさいが満開となり、花の観賞で訪れる人の目を楽しませました。

また各種イベントも行われ、大勢の見物客でにぎわいました。毎年恒例のサイコロゲームやウルトラマナーゲームにはテレビでおなじみのタレント・バリトン伊藤氏が出演、軽妙なトークでゲームを進行し、会場を盛り上げてくれました。

このほか園内では、彩り豊かなあじさいの中を歩く健康イベント「あじさいウォーキング」も開催され、参加者は心地よい汗を流していました。また、公園内にある碧層軒茶室では、あいかわ保育園による野点が開かれ、かわいい浴衣姿の園児たちがお茶を振る舞いました。

今年のまつりでは新企画「あじさいの俳句」が募集され、市内外から462点の応募がありました。審査の結果、次の俳句作品が入選しましたので、ご紹介いたします。

■最優秀賞

「遭難碑見下ろす丘のてまりばな」
土佐隆歩さん（北秋田市）

■優秀賞

「夏休みぼくは秋田で勉強だ」
ケビン・マグアアさん（香港）
応募時合川東小6年生として在籍

■優秀賞

「あじさいの色移ろいて師の訃報」
相馬留治さん（上小阿仁村）

■あじさいまつり賞

「紫陽花に目をうばわれつつ雨宿り」
後藤潤さん（合川中3年）

■あじさい公園賞

「紫陽花の丘に野点の眼笑む」
佐藤貴美さん（北秋田市）



▶華麗なパチさばきを披露した「まとび学園太鼓」



▲あいかわ保育園の野点。園児たちがかわいい浴衣姿でお茶を振る舞いました。



▲タレントのバリトン伊藤氏の進行で盛り上がった恒例のウルトラマナーゲーム。



▲台の全長70mの流しそうめん。端っこには届いたかな？



▲たくさんの楽器を同時に演奏する「ファニートンボ」。

しっとりとした花が水辺に映える 鷹巣中央公園「あじさいの丘」

市内では、鷹巣中央公園もあじさいの名所として知られています。同公園の「あじさいの丘」のあじさいはおよそ1,000株。姿の美しい松で知られる「浮島」周辺の丘を色鮮やかに彩っています。

あじさいは昭和59年、鷹巣町婦人団体連絡協議会（中嶋喜代会長）が結成5周年を記念して植栽を始め、その後も節目の年毎に植栽が続けられてきたものの、結成25周年を迎えた昨年は350株が植えられ、現在の規模にまで大きくなりました。

中央公園のあじさいは周囲の樹木に囲まれ、また水辺に植栽されていることから、日差しが強い時期でもしっとりとした風情の花を観賞できるのが特徴です。

蝉時雨を聞きながら「あじさいの丘」周辺を散策するのも涼味満点。ぜひ一度お訪ねください。



水辺に映るあじさいとのコントラストが美しい鷹巣中央公園「あじさいの丘」